

50分  
コース

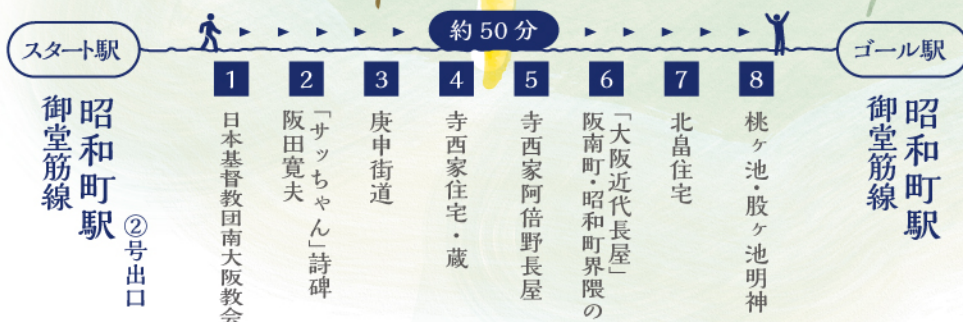
**御堂筋線 昭和町駅**

昭和のまち昭和町

昭和町の町名は、この地域で土地  
整理事業を担った阪南土地区画  
整理組合の土地造成が昭和4年  
(1929)に完成したのを記念して  
「昭和」に定められました。その後、  
昭和26年(1951)に地下鉄が天王  
寺から延伸して駅名になり、昭和  
町の地域発展が促進されました。



大阪市の都市づくりは大正末から昭和の初めにめざましい躍進を遂げました。関東大震災後の大正14年(1925)には人口日本一を記録して大大阪と呼ばれ、住宅開発が緊急の課題となりました。そこで昔ながらの屈曲した街路を整備し、英国をモデルにした昭和モダンの住宅開発を進め、大阪近代長屋がうまれました。



昭和町駅  
50分  
コース

# Osaka Metro まちさんぽ

御堂筋線 昭和町駅

昭和のまち昭和町

## 大阪の昭和ロマンこのまちにあり

昭和町の町名は、この地域で土地整理事業を担った阪南土地区画整理組合の土地造成が昭和4年(1929)に完成したのを記念して「昭和」に定められました。その後、昭和26年(1951)に地下鉄が天王寺から延伸して駅名になり、昭和町の地域発展が促進されました。

スタート駅

約 50 分

ゴール駅

### 御堂筋線昭和町駅②号出口

### 御堂筋線昭和町駅

#### 1 日本基督教団南大阪教会

南大阪教会は大正15年(1926)に設立された日本基督教団に所属するプロテスタントの教会です。昭和3年(1928)に建築家・村野藤吾の処女作となる旧礼拝堂と教会塔が完成しました。旧会堂は痛みが激しくなって取り壊され、昭和56年(1981)に新しく建築された会堂は、村野藤吾による晩年の傑作といわれています。



#### 2 阪田寛夫「サっちゃん」詩碑

南大阪教会に付属する南大阪幼稚園の2期生であった阪田寛夫が作詞した童謡「サっちゃん」の詩碑が園の東南部にあります。芥川賞作家である阪田寛夫は大正14年(1925)に大阪で生まれ、幼稚園での「一級上の女兒」の思い出をもとにこの詩を書いたと話しています。昭和の幼児はだれもが「バナナがだいすき」でした。



#### 3 庚申街道

庚申信仰の発祥地・四天王寺庚申堂への参詣道で、一般的には四天王寺南大門前から田辺を通って平野区長吉に至るルートを庚申街道といいますが、四天王寺南大門からJR天王寺駅を南下し、南大阪教会東側の道路を長居へ向かう道路も、地元では庚申街道と呼んでいます。



#### 4 寺西家住宅・蔵

住宅は大正15年(1926)、土蔵は昭和10年(1935)に建築されました。和風の玄関横に洋風の応接間が併設された当時の典型的な建築様式です。屋根に洋瓦が葺かれ、各部屋は独立して中廊下が走り、大正時代のデモクラシーの気風がうかがえます。区画整理事業の最中の建築で、躍進する大阪の気概が表れています。主屋・蔵ともに平成17年(2005)に国の登録有形文化財になっています。



#### 5 寺西家阿倍野長屋

昭和7年(1932)建築の4戸1棟の長屋で、平成15年(2003)に長屋では全国初の国の登録有形文化財に登録され、翌年に外観を修復しました。2戸ごとに仕切る防火壁が屋根より高く、袖壁がついています。各戸ごとに木戸門があり、背面側に坪庭があります。建築当初は1階に玄関、茶の間、和室、台所、ガス設備のある風呂、便所があり、2階には和室2室がありました。



#### 6 阪南町・昭和町界隈の「大阪近代長屋」

大阪の人口が爆発的に増加した時期に、大阪市は住宅需要に応じて、門構え、堀、前栽、2階座敷と縁側を持つ、英国のテラスハウスをイメージした「大阪長屋」といわれる邸宅風の近代長屋を、洋風・和風・和洋折衷で建設を進めました。阪南町・昭和町界隈にはこのような近代長屋の原型を受け継いだ住宅建築がそこかしこに残されて、貴重な近代化史料としてコースの左右に多く見かけられます。



#### 7 北畠住宅

大正末期からの区画整理事業の一環として、大阪市が15年割賦で売り出した分譲住宅が北畠住宅です。このあたりは大正時代には桐山と呼ばれる森林で、周辺より先んじて近代住宅地として造成されました。その頃の面影をとどめるように南北の住宅地内街路が未舗装のまま残されています。



#### 8 桃ヶ池・股ヶ池明神

桃ヶ池は古代から農地に水を供給する灌漑用の池でした。大蛇が棲みついて農民を苦しめたので、聖徳太子が使者を送って退治したという桃ヶ池伝説があります。股ヶ池明神は、その大蛇の霊を鎮めるために「おろち塚」が造られたのが起源とされています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2025年2月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

#### ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。  
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

#### ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

#### 駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行